

# 多様性のある学びで社会へ導く



玉木学園 理事長  
おにづか きんきち  
**鬼塚 謹吉 氏**

◎出身校

長崎大学学芸学部(当時)

◎今年やってみたいこと・チャレンジしたいこと

88歳。生まれ変わったら小学校の教師になりたい。

◎趣味

教育に携わり66年。学校が大好き、これが趣味です。

本学園は、長崎医療技術専門学校、長崎玉成高校、附属中学部から成ります。創立30周年を迎えた専門学校には、理学療法学科と作業療法学科があります。昨年、県内の専門学校としては初めてとなる「主たる実習施設」契約を長崎リハビリテーション病院と結び、学生がより臨床に近い環境で学べる専門学校となりました。就職率は創立以来100%です。

高校では、即戦力として活躍できる人材を育てています。「衛生看護科」は5年一貫教育。最短の5年で、看護師国家試験受験資格、保健師学校・助産師学校受験資格を取得でき、学費も抑えられます。「医療福祉科」は介護福祉士を目指します。卒業後は、同学園の専門学校に進学し、さらにリハビリを学ぶ生徒もいます。長崎市内唯一の「調理科」は昨年、県の調理動画コンテストで入賞。先輩たちの中には、長崎市内の大手ホ

テルで活躍している人も少なくありません。高校には「普通科・共育コース」があり、学びや人間関係に偏りのある子どもたちを幅広く受け入れ、ドリル形式の学習で、一人一人のペースで学び直しを、体験学習で人間関係を培います。生徒が運営する玉成ベーカーリー社では、仕入れ・発注、製造、販売など全てを自分たちで。出来たてのパンはピカピカでなかなかおいしいんですよ。昨年は

ドローンの課外活動もスタート。興味を促し、部活動化も視野に入れていきます。多様な学びを取り入れているのが玉木学園。成長しない子どもはいません。独り立ちができるように手助けします。地元に着して働いて、税金を納めることができる人を育てていきたいと思っています。



長崎リハビリテーション病院との調印式

